

# 第29回全国消防操法大会が開催 富岡町消防団が出場



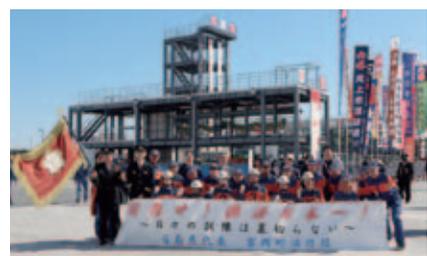
令和4年10月29日  
(土)、第29回全国消防操法大会が、総務省消防庁及び(公財)日本消防協会の主催で、千葉県市原市にある千葉県消防学校において開催されました。

この大会は、各都道府県の消防団の代表が一堂に会し、消防の基本となる「消防操法」の技術を競うべく2年に一度開催されるものですが、新型コロナウイルス感染拡大で中止の連続となっていました。3年ぶりに開催の今年の大会は、晴天に恵まれ、小型ポンプの部24チーム、ポンプ車の部21チームが出場し、技術を競い合いました。

また、今年  
の大会は、全国消防操法大会操法実技の一部見直しが行われ、パフォーマンス的動作等の見直しが行われての初めての大会となりました。  
福島県からは、富岡町消防団がポンプ車の部に出場選手一丸となり健闘しました。残念ながら入賞を逃し



編集者 福島市中町5番21号  
福島県消防会館内  
公益財団法人 福島県消防協会  
印刷人 福島市南矢野目字萩ノ目裏1-1  
電話(福島) (522) 5974  
村山 広一  
電話(福島) (553) 4600



てしまいましたが、1番員の佐藤高広選手が日本消防協会会長特別表彰の優秀選手賞(各操作員1名)を受賞しました。



＜大会結果＞  
●ポンプ車の部  
優勝 鹿児島県中種子町消防団  
●小型ポンプの部  
優勝 福岡県新宮町消防団

## お出かけは マスク戸締り 火の用心

### 令和4年度全国統一防火標語

### 知事表敬訪問



全国消防操法大会に先立ち、福島県代表の富岡町消防団が10月11日に県庁を訪れ、内堀雅雄知事に大会出場に向けた意気込みを語りました。  
知事との会談の中で、指揮者の鎌田祐輔さんは「平成16年に同部門で9位に入賞しており、今回はそれを超える成績を目標にしたい」と抱負を語りました。  
なお、当協会吉田秀一会長が同行しました。

### いわき市消防団に 消防車両を交付



生活協同組合全日本消防人共済会では、教育広報事業として防災活動車の交付を行っています。  
この事業の防災活動車は、平時には地域住民に対する防火防災のための広報として、災害時には地域住民の避難誘導など地域の防災と福祉向上を目的として、消火・救助活動等の現場で活用できるものです。  
本県では今年度、いわき市消防団が車両の交付を受けました。  
いわき市消防団の恩田泰行団長は「広大な面積を有するいわき市の安全・安心を守るため、平時は火災や水害の未然防止に向けた予防指導・広報を行うなど、災害時は現場で団員の指揮を執るなど、防災・減災に努めていきたい」と市民の安全・安心と財産を守るため、様々な場面での有効活用への期待を述べています。



福島県消防協会公式HP  
http://zfsk.or.jp

# 第75回 日本消防協会定例表彰式

第75回日本消防協会定例表彰式は、令和5年3月3日(金)にニッショーホールで開催されましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して執り行われました。

開会式後、消防殉職者に対する黙とうが行われ、各種表彰が代表受賞消防団及び代表受賞者に授与されました。



表彰されたのは、特別表彰まとい10団、特別功労章10名、表彰旗35団、卒頭綬87団、功績章911名、精績章2,191名、勤続章9,237名、婦人消防隊表彰旗6隊、婦人消防隊員功績章9名、永年勤続職員10名で、本県関係の受賞者等は次のとおりです。

- 卒頭綬  
平田村消防団  
金山町消防団  
大熊町消防団
- 功績章  
34名
- 精績章  
81名
- 勤続章  
330名



## 福島市消防団に 表彰旗伝達

日本消防協会定例表彰において、福島市消防団に表彰旗が授与されましたが、表彰式が代表受賞団(者)のみの参加となったため、3月20日に当協会吉田秀一会長から、福島市消防団に表彰状と表彰旗を伝達しました。

福島市消防団は、だれもが安全安心に暮らせる災害に強いまち福島を目指し、自主的な防火・防災活動、水害を想定したゴムボート取扱訓練や各分団と消防署の合同訓練に積極的に取り組むとともに、機能別団員制度の導入や女性消防隊の発足など、時代の変化に対応した取組で消防力の向上を図っていることが高く評価されたものです。



## 令和4年度 消防団長等研修会



令和5年2月20日(月)、郡山市熱海町の「ホテル華の湯」において、令和4年度消防団長等研修会を開催しました。

これまで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で研修会の開催が見送られてきましたが、今年は3年ぶりに開催することができました。

初めに、当協会吉田秀一会長の挨拶に続き、福島テレビ報道局の気象予報士斎藤恭紀氏から「福島県の気象災害、地震のリスク、命を落とさない防災とは？」と題して講演をいただきました。斎藤氏からは、東日本大震災の振り返り、地球温暖化と夏の長期予報、水害や地震から命を守るための行動など、大変参考になる話を分かりやすく語っていただきました。

午後からは、千葉県消防協会副会長で千葉県市川市消防団長の安達博氏から「消防団員の確保について CIVIC PR IDE」と題して講演を



最後に、県消防協会事務局から、各消防団の日ごろの活動状況や写真の募集、全国女性消防操法大会への出場、火災共済や個人年金への加入など、お願いがあり、研修会は終了しました。

いただきました。消防団員の減少が進み、団員の確保が大きな課題となっている中、市川市消防団では、様々な取組を行っており、キャッチフレーズの策定やSNSの活用、PRムービーの制作など、若者が興味を引くような取組を行い、団員の入団促進につなげている活動について、お話をいただきました。



続いて、情報整備局代表の和田晃司氏から「地域防災アプリS.A.F.E」を紹介していただきました。同アプリは、県内消防団でも導入が進み、すでに導入している消防団の団長から、現場の声を聞かせていただきました。



# 第27回 全国女性消防団員活性化 徳島大会

## ようこそ！藍の国・愛の国とくしまへ

### 「女性パワーを盛り上げ 大きな大きな洞へ！」

令和4年11月22日(火)、徳島県徳島市にあります「アスティとくしま」において、第27回全国女性消防団員活性化徳島大会が開催されました。本大会は、女性消防団員相互の情報交流等を通じて、女性団員としての視点を最大限に活用して、地域防災力の向上に貢献することを目的に毎年開催されてきましたが、新型コロナウイルス感染拡大で開催が見送られ、3年ぶりの開催となりました。



会場では、徳島県警察音楽隊によるウェルカムミュージックが来場者を歓迎してくれました。

開会式は、大会旗が入場、開会宣言の後、主催者の消防庁長官(代理) 佐藤茂宗(地域防災室長)、秋本敏文(日本消防協会会長)と実行委員会委員長の徳島県消防協会井住正三(会長)の挨拶に引き続き、開催地の徳島県飯泉嘉門知事、徳島市内藤佐和子市長から歓迎の挨拶がありました。

開会式の後には、3つの消防団が防火防災啓発劇を披露し、劇を通して消防団の使命や日頃の防災普及啓発活動を紹介しました。

●防火防災啓発劇(3団体)

香川県東かがわ市消防団  
広島県広島市安佐北消防団  
和歌山県和歌山市消防団

午後からは、元女子マラソン選手の有森裕子氏による「よろこびを力に」と題した記念講演が行われ、学生時代にマラソンを始め、恩師と出会って支えられ、すべての経験がマラソン

の道へ繋げるバトンとなったお話を熱く、楽しくしていただきました。

その後、4つの消防団から活動事例の発表がありました。

●活動事例発表(4団体)

青森県青森市青森消防団  
山梨県北杜市消防団本部女性消防隊  
徳島県徳島市消防団  
埼玉県飯能消防団

続いて、「輝く！女性消防団員 私たちが守る地域の未来」をテーマに、飯泉知事をコーディネーターに、事例発表者をパネリストとして、パネルディスカッションが行われました。パネリストからは、女性消防団を含めた未来の消防団について提言をいただき、飯泉知事は、消防団員が活動しやすい環境をしっかりと作っていきけるよう取り組んでいきたいと発言されました。

閉会式では、大会宣言、お礼の言葉、大会旗引継が行われ、次期開催地の石川県消防協会鍋谷有介(会長)が挨拶を述べました。

次回大会は、令和5年11月16日、石川県金沢市で開催されます。福島県の女性消防団員の皆さん、ぜひ、ご参加ください。

本県参加団体  
福島市消防団、福島県消防協会



(機器協会会員)

総合防災用品、NIKKI式消防車  
トーハツ消防ポンプ、キンバイホース  
NAホスポール

民間車検場  
和田自動車株式会社

WADA JIDOHSA CO.,LTD.

郡山市田村町金屋字孫右エ門平57番地  
〒963-0725 TEL 024(943)3400(代)  
FAX 024(943)3873

— 消防設備総合メンテナンス —

キンバイホース・消火器・避難器具  
火災報知設備 スノーラップ  
その他消防用品一式

(機器協会会員)

防災機器の御用命は  
(有)東北防災センター

代表 夏井一樹  
本社 福島市入江町5-7  
☎024(634)3389・2540

(機器協会会員)

ニッキ消防ポンプ  
キンバイホース  
東部産業株式会社自動車部  
シバウラ小型ポンプ

いわき市内郷綴町金谷15番地4  
☎0246(26)5401

代表取締役 菊池一隆

(機器協会会員)

株式会社 ホシノ

モリタ式消防ポンプ自動車  
シバウラ小型動力ポンプ  
消防用設備・設計施工・保守点検

会津若松市材木町  
一丁目十番二十二号  
☎会津若松(26)五六〇〇  
郡山支店

(機器協会会員)

トーハツ消防ポンプ・モリタ式自動車ポンプ・ジェットホース・キンバイホース・消火器・避難器具・火災報知機・漏電警報機

福島市五月町八一三七  
☎〇二四一五二一五五五五

福島消防資材株式会社

(機器協会会員)

安全と防災  
総合安全設備  
総合防災設備

消防標識 防災用品  
カーブミラー 反射テープ加工  
道路安全用品 各種標識  
各種消火器

各種作業服

TOAN トーアン株式会社

☎963-0215 郡山市待池台1丁目55-37 ☎024(936)2050(代)

(機器協会会員)

(有)渡辺鉄工消防用品

トーハツ消防ポンプ  
モリタ式消防ポンプ車  
消防ホース・消火器  
ミヤス自動車消火装置  
避難器具・消防被服  
鉄骨火の見櫓・他消防用品一式

田村市船引町北町通47  
☎〇二四七(26)〇〇七二

(機器協会会員)

株式会社 平成

本社 / 〒971-8122  
福島県いわき市小名浜林城字塚前23-1  
TEL 0246-58-0047(代)  
FAX 0246-58-0080

代表取締役 鈴木庸平

●雄大な自然都市いわき  
●躍動するネットワーク都市いわき  
●のびのび快適生活都市いわき

令和4年度

女性消防団員等研修会

令和4年12月17日(土)、福島市の「パルセイイざか」において、令和4年度女性消防団員等研修会を開催しました。同研修会は、女性消防団員の活動の活性化と交流の促進につなげるため、毎年開催しています。今年も、県内の女性消防団員等約50名が参加しました。



研修会は、当協会吉田秀一会長の挨拶に続き、福島テレビのレポートプラスでおなじみの気象予報士齋藤恭紀氏から「福島県の消防と災害について」教えて！齋藤さん」と題して講演をいただきました。命と財産を守ることをライフワークにされている齋藤氏の講演では、地球規模の気候変動から身近な地元の天気のお話、本県の水害や地震の状況、避難方法など有意義なお話を聞くことができて、今後の活動に大変参考になりました。

終わりに、福島市消防団女性消防隊の皆さんが、日ごろ地域で防災教室を開催する際、「防災手ぬぐい」を用いて予防啓発を実施していることから、デモンストレーションを行っていただきました。

次に、県消防学校の鈴木一弘教務課長から「今日から実践！すぐ出来る訓練礼式！」と題して、実技を交えた講演をいただきました。女性消防団員としての活動が予防広報だけという団員の方も、団員としての基礎知識や基本的な動きを習得することは有意義なことから、礼式や訓練の目的、必要性などお話をいただきました。その後、実技に移り、基本の姿勢や休めなどの基本的な動き、集合整頓などを教えていただきました。



「Fireエール五・七・五」入賞作品決定

仕事をもちながら自分たちの地域を守るため、日夜活動している福島県内の消防団員にエールを贈るとともに、消防団員の活動を広く福島県の人々にお知らせするために、ユーモアあふれる「Fireエール五・七・五」を募集したところ、116名の方から366作品が寄せられました。本当に多くの作品をお寄せいただきありがとうございました。

入賞作品の選考会を開催し、次のとおり入賞作品が決まりました。



消す防ぐ  
ふるさとを守る  
二刀流  
伊達市 天地の恵 様



過疎の中  
消防団は  
宝なり  
南会津町 消防応援団 様

わが家では  
ママが団長  
火の用心  
郡山市 四季 桜 様

出初め式  
カッコイイパパ  
ラッパ隊  
古殿町 論田の悪妻 様



早朝の  
規律訓練  
足もつれ  
いわき市 我が団はZ世代を募集中 様

検閲の  
ゆめのなかでも  
頭(かしら)右  
福島市 消防21 様

訓練で  
ホース展張  
腰不調  
白河市 すかも 様

(機器協会員)

〈総合防災〉

消火器・シバウラ消防ポンプ・  
消防ホース・各種消防防災用品・  
火報設備・避難設備・消防設備  
保守点検設備

会星産業株式会社

白河市古高山3-138  
☎0248(22)5504

(機器協会員)

各種消防ポンプ自動車メーカー

日本機械工業株式会社  
仙台営業所

仙台市青葉区一番町1丁目10番36号  
TEL 022-222-8831  
FAX 022-223-6660

— 福島県下代理店 —

東部産業(株)自動車部  
和田自動車(株) いわき市(26)5401  
郡山市(943)3400

(機器協会員)

会津消防用品株式会社

会津若松市松町二丁目四一  
☎会津若松(024)51-51

消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ・  
消防ホース・消火器・防火衣・  
火災報知設備・積載車艙装  
消防設備保守点検

(機器協会員)

福島県知事許可  
総合防災設備設計・施工・  
保守点検・消防資材一式・  
他弱電工事

明和電気防災(株)

福島市上鳥渡沢沢22-3  
☎(024)593-2131

## 令和4年 秋の叙勲(消防関係)

全国の受章者は、621名(瑞宝中  
綬章1名、瑞宝小綬章39名、旭日双光  
章5名、瑞宝双光章50名、瑞宝単光章  
526名)となっています。(発令4・  
11・3)

福島県関係では、次の方々が受章さ  
れました。

- **瑞宝双光章(1名)**
- 元いわき市 消防正監 小野 善廣
- **瑞宝単光章(15名)**
- 元いわき市消防団 副団長 石井 宮喜
- 元飯野町消防団 分団長 伊藤 烈
- 元田村市消防団 副団長 今泉 敏之
- 元富岡町消防団 分団長 江又 勝彦
- 元福島市消防団 分団長 遠藤 清
- 元郡山市消防団 副団長 大野寛市郎
- 元南会津町消防団 副団長 酒井 宏幸
- 元国見町消防団 団長 佐藤 誠
- 元川俣町消防団 副団長 高橋 富雄
- 元福島市消防団 分団長 畑中 美征
- 元梁川町消防団 分団長 幕田 繁
- 元郡山市消防団 副団長 増戸 豊美
- 元双葉町消防団 分団長 村井 佳人
- 元南相馬市消防団 副分団長 百井 信正
- 元相馬市消防団 分団長 門馬 隆行



## 令和4年 秋の褒賞(消防関係)

全国の受章者は、107名(紅綬褒  
章1名、黄綬褒章7名、藍綬褒章99名)  
となっています。(発令4・11・3)

福島県関係では、次の方々が受章さ  
れました。

- **藍綬褒章(6名)**
- 現桑折町消防団 副団長 斉藤 修
- 現須賀川市消防団 副団長 須藤 晃弘
- 現鏡石町消防団 団長 添田 孝利
- 現棚倉町消防団 副団長 沼田 賢次
- 現南相馬市消防団 副団長 藤田 代一
- 現鮫川村消防団 副団長 前田 博之

## 第39回 危険業務従事者叙勲 (消防関係)

全国の受章者は、626名(瑞宝双  
光章297名、瑞宝単光章329名)  
となっています。(発令4・11・3)

福島県関係では、次の方々が受章さ  
れました。

- **瑞宝双光章(5名)**
- 元須賀川地方広域消防組合 消防監 會田 政男
- 元郡山地方広域消防組合 消防監 上田 宏
- 元伊達地方消防組合 消防司令長 岡崎 邦博
- 元福島市 消防監 金子 照夫

元郡山地方広域消防組合 消防監 八代 武則

● **瑞宝単光章(7名)**

● 元須賀川地方広域消防組合 消防司令長 熊田 亮

● 元会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防司令長 佐藤 力

● 元いわき市 消防司令 佐藤 良男

● 元相馬地方広域市町村圏組合 消防司令長 中島 秀一

● 元相馬地方広域市町村圏組合 消防司令長 馬場 昭久

● 元会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防司令長 真部 六朗

● 元いわき市 消防司令 渡邊 弘

## 令和4年度 訓練指導員研修

令和4年11月10日(木)・11日(金)の  
2日間、令和4年度訓練指導員研修を  
県営あづま総合体育館で開催しまし  
た。研修には、県内18消防団から19名  
が参加しました

研修の第1日目は、本研修会のオリ  
エンテーションに引き続き、消防協会  
事務局から福島県消防協会の事業等  
について説明があり、次に、県消防学  
校講師による「消防団員の事故対策」  
として、安全管理の意義、火災現場にお  
ける安全管理の実践など、安全管理  
(事故防止)の重要性について講義を  
受けました。

午後からは、県消防学校講師による  
「訓練礼式(座学)」、  
続けて「応  
急手当」と  
して、シー  
ツや衣類を  
用いた搬送  
用簡易タン  
クの扱い方  
、三角巾を用  
いた骨折時  
などの指導



「訓練礼式(座学)」、  
続けて「応  
急手当」と  
して、シー  
ツや衣類を  
用いた搬送  
用簡易タン  
クの扱い方  
、三角巾を用  
いた骨折時  
などの指導

を受けま  
した。  
第2日  
目は、県  
消防学校  
講師によ  
る「訓練  
礼式(実  
技)」が行  
われ、午

後は、県消防保安課職員から「福島県  
の消防行政の課題」として、福島県の  
消防団の現状と課題、ふくしま消防団  
サポート企業などの取組について説明  
を受けました。

次に、県消防学校講師による「現場  
指揮」として、現場指揮の重要性、指  
揮者の心構えや団員の安全確保につい  
て講義を受けました。

最後の閉講式では、当協会吉田秀一  
会長が研修生一人一人に修了証書と訓  
練指導員章  
を授与し、  
最後に、総  
代を務めた  
下郷町消防  
団大竹洋一  
分団長が挨拶  
を行い、  
研修の全日  
程が終了し  
ました。



福島県消防団応援プロジェクト  
**「ふくしま消防団  
 サポート企業」  
 を募集中**

詳しくは福島県危機管理部  
 消防保安課までお問い合わせく  
 ださい。



**火災共済に加入しましょう**

まさかの時にお役に立ちます!



風水被害や地震等にも共済金や見舞金を支給

お問い合わせ  
 生活協同組合全日本消防人共済会  
 TEL 03-6263-9822 <http://www.shouboujin.or.jp/>

**福島県消防協会の令和5年度事業計画・予算が決定**

福島県消防協会の令和4年度第4回理事会が令和5年2月16日(木)に杉妻会館で開催され、令和5年度事業計画・予算などが決定されました。

令和5年度事業計画・予算の概要は、次表のとおりです。

なお、令和5年度の事業計画・予算は、公式ホームページに掲載します。

**令和5年度事業計画 (主要行事)**

6月2日(金)	令和5年度福島県消防殉職者等慰霊祭	喜多方プラザ文化センター
6月3日(土)	第76回福島県消防大会	喜多方プラザ文化センター
6月予定	県協会支部事務連絡会議	未定
7月19日(水)	令和5年度東北地区消防連絡協議会	秋田県秋田市
9月14日(木)	第42回全国消防殉職者慰霊祭	東京都(ニッショーホール)
10月21日(土)	第25回全国女性消防操法大会	東京都
11月16日(木)	第28回全国女性消防団員活性化大会	石川県金沢市
3月8日(金)	第76回日本消防協会定例表彰式	東京都(ニッショーホール)
未定	令和5年度団長等研修会	未定
未定	令和5年度女性消防団員等研修会	未定
未定	令和5年度消防団訓練指導員研修	未定

**令和5年度予算概要**

○収入の部 総額	38,343,000円
・公益目的事業会計 主な内容 市町村負担金 県補助金・日消防成金	18,448,100円 15,480,000円 2,400,000円
・収益事業会計 (会館運営事業) 主な内容 受取家賃	6,197,700円 6,190,800円
・収益事業会計 (共済事業) 主な内容 日消事務費・助成金	10,650,250円 10,650,000円
・収益事業会計 (その他事業)	1,300,150円
・法人会計	1,746,800円
○支出の部 総額	42,728,600円
・公益目的事業会計	28,367,100円
・収益事業会計 (会館運営事業)	5,773,400円
・収益事業会計 (共済事業)	4,729,500円
・収益事業会計 (その他事業)	1,327,300円
・法人会計	2,531,300円



(機器協会員)

**福島日野自動車株式会社**

本社 郡山市支店  
 郡山市安積町菅川字峰田五ノ一  
 ☎024(945)1665  
 福島支店  
 福島市常盤北二丁目一  
 ☎024(241)0333  
 いわき支店  
 いわき市小名浜島字海地六番地一  
 ☎0246(81)8181  
 白河支店  
 白河市浪船村大字高崎字核土業園地二一  
 ☎0248(154)0355  
 会津若松支店  
 会津若松市神指町大字北四合字横沼東〇一  
 ☎0248(217)2333  
 相双営業所  
 相馬市柚木字大岡七二一五  
 ☎0244(136)0385

(機器協会員)

**総合消防設備**

消防備品、消防設備点検、防火対象物点検

**援護化学株式会社**

代表取締役 滝田 吉宏

本社 郡山市函景1丁目17-24  
 (024)932-0440(代)  
 営業所 会津若松市建福寺前1-25  
 (0242)27-1056

(機器協会員)

**ISUZU**

**いすゞ自動車東北株式会社**

福島支社 福島市岡島字長岬6-7  
 ☎024(572)3663(代)

福島支店 ☎024(572)6414(代)  
 郡山支店 ☎0248(72)2020(代)  
 いわき支店 ☎0246(58)4081(代)  
 会津支店 ☎0242(24)3455(代)  
 相双営業所 ☎0244(24)3255(代)  
 本宮営業所 ☎0243(63)2660(代)  
 白河営業所 ☎0248(22)7125(代)

(機器協会員)

**福島トヨタ  
 自動車株式会社**

福島市太平寺字沖高二五  
 ☎024(546)1000

モリタ式消防ポンプ自動車  
 シバウラ小型動力ポンプ  
 消防用設備・設計施工・保守点検

**郡山防災センター**

(株式会社ホシノ郡山支店)  
 郡山市久留米三丁目二十七番地  
 ☎024(945)1899(代表)

(機器協会員)

あらゆるパッチ  
 盾・トローリー  
 消防関係印章のご用命は  
 当店にどうぞ

**美光**

有限会社  
 福島市西中央三丁目一六番一五号  
 TEL (024) (534) 0255  
 FAX (024) (534) 6657

(機器協会員)

(機器協会員)

普通免許対応車両総重量3.5未満  
 CD-1型 ミニクルLight



人と地球のいのちを守る  
**MORITA**  
 株式会社モリタ  
 モリタ宮田工業株式会社

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町3丁目8番55号  
 仙台支店 TEL.022-238-6461  
 東北営業部 TEL.022-238-4771

(機器協会員)

トーハツ消防ポンプ 消防用金具  
 モリタ式自動車ポンプ 消火器具  
 ジェットホース 避難器具・保護具  
 消防被服 火災報知機  
 その他消防用品一式

**磐水社**

本社 いわき市平字古鍛冶町4  
 ☎(0246)23-1616(代)  
 FAX (0246)23-1979  
 白河営業所  
 白河市字大島居橋前83-14  
 ☎(0248)23-3600  
 FAX (0248)23-4134